

アンのあのお



第19回
日米学生交流

サインバイノー!アノンです。米国マリナー市との友好交流が始まり、最初のプロジェクトである学生オンライン交流も、2年目が終了しました。私は交流の中で両国の架け橋として、通訳を務めました。そこで、日本とアメリカの子どもたちの考え方の違いを実感しました。

以前日本に留学していたとき、日本人は世界のどこにも見られない独特な伝統文化や精神性を持っているという印象でした。今回の交流で、日本は教育面でも他国と非常に異なることに気が付きました。

アメリカの子どもたちはとてもオープンで、高い表現力があり、意見を主張していて、幼い



▲オンライン交流参加学生 (マリナー市)

ころから自己表現の技術を学んでいるようでした。一方、日本の子どもたちはとても礼儀正しく、静かで真面目、相手より目立つことを望まず、たとえ違っていたとしても定しないように感じました。それは、相手を思う気持ちの表れで、日本にしかない道徳を学ぶ教育のひとつだと思います。



▲オンライン交流参加学生 (伊豆の国市)

彼らは同年代ですが、お互いの物事に対する考えの差に驚き、趣味や興味が一致していることを喜び、仲良くなっていく姿を見て、とても幸せでした。国境を越えて、友好都市の友だちと仲良くなり、異文化理解を深めている彼らをととても誇りに思います。それでは、バイタルタイ!

問 協働まちづくり課 ☎055(948)1412

第34回 望月 良和 さん

初代 伊豆の国市長



これまでも、これからも、伊豆の国市を見守る

20年前、伊豆の国市の初代市長に就任した望月良和さん。旧3町が合併した黎明期の市政を2期8年にわたり牽引しました。

もともとは、旧大仁町で印刷会社を営む傍ら、子どもたちに柔道を教えていた望月さんが、初めて政治の世界に入ったのは昭和62年。当時、中学校のPTA会長だった望月さんは、荒れていた教育現場を目の当たりにし、行政が何とかしなければいけないと、町議会議員になりました。その後、町長となり、「平成の大合併」に取り組むことになりました。望

月さんは「伊豆半島の人口が減っていく中、町も力をつけなくてはならないと感じていました。反対の声もありましたが、観光の伊豆長岡町、農業の韮山町、商工業の大仁町という特性を持った3町の合併は、必ず良い市を誕生させると確信がありました」と当時を振り返り語ります。

合併から20年。その思いは引き継がれ、今では旧町の垣根を超えた融和を感じられるようになりました。しかし、少子高齢化対策は変わらぬ課題だと言う望月さん。「行政も市民も、目の前のことだけではなく、長い歴史の流れの中で、未来にも視野を広げていく必要があります」。

市長を退いた後も、薬物乱用対策や天城山の登山道保全、中学校での講演など、精力的に活動する望月さん。最近では地元のために『城山は見ていた』という歌も作詞しました。「太古の昔にマグマが固まって隆起した城山は、長い歴史の中で、畠山国清兄弟の戦いや狩野川台風など、人々の営みはずっと見守ってきたんです」と望月さんは語ります。

城山と望月さんは、これまでも、これからも、伊豆の国市を温かく見守ってくれることでしょう。

のびのび まなび

12じかんめ(最終回)
英語であそぼう!
ALTとの触れ合い

幼稚園・保育園・こども園における「英語であそぼう」事業の2年目は、ALTが幼稚園・保育園・こども園の生活の中に入って、子どもたちと遊んだり、食事をしたりする日を設けました。1日8時間、年間13日行われ、子どもたちが英語に触れる時間が増えました。登園から降園まで関わるため、子どもたちは、あいさつをはじめ、日常会話の中でALTから多くの英語を聞くことができます。歌やゲーム、踊り、絵本の読み聞かせ



▲一緒に手を動かしながら英語の歌を歌います

なども行い、一緒に楽しく過ごしています。また、令和5年度は5歳児のみ対象でしたが、令和6年度は一緒に生活する日を設けたことで、年齢を問わずALTと触れ合うことができていると。子どもたちだけでなく、職員も一緒に、会話をしたり教材を作ったりして親交が深まっています。



▲ALTと一緒にトランプ

今後も、グローバル社会の中で主体的に行動し、たくましく生きる子どもを育成をねらいに、より自然な形で英語に触れながら、英語が好きな子を増やしていきたいと思えます。

問 幼児教育課 ☎055(948)1447

ごみの分け方 出し方



プラスチック容器包装のごみ袋に 違反ごみを混ぜないで

違反ごみの混入

市内のごみ集積所からごみ処理施設に搬入される「プラスチック製容器包装」のごみ袋の中に、違反ごみが混入していることがあります。サンダルや紙おむつ、弁当などのプラスチックのトレーのごみで食べ残しや洗っていないものなど、指定されたごみ以外が混入されているケースが見受けられます。



分別ルールの徹底を

違反ごみが混入していると、選別作業に多くの時間がかかります。さらに、良質で効率的なごみの資源化処理に支障が出てしまいます。プラスチック製容器包装のごみ袋に、指定されたごみ以外のごみを出さないようにしてください。

『ごみの分け方・出し方』ハンドブックやワンポイントブックを参考に、分別ルールの徹底にご協力をお願いします。



▲ハンドブックなど(市HP)

問 廃棄物対策課 ☎0558(76)8001